

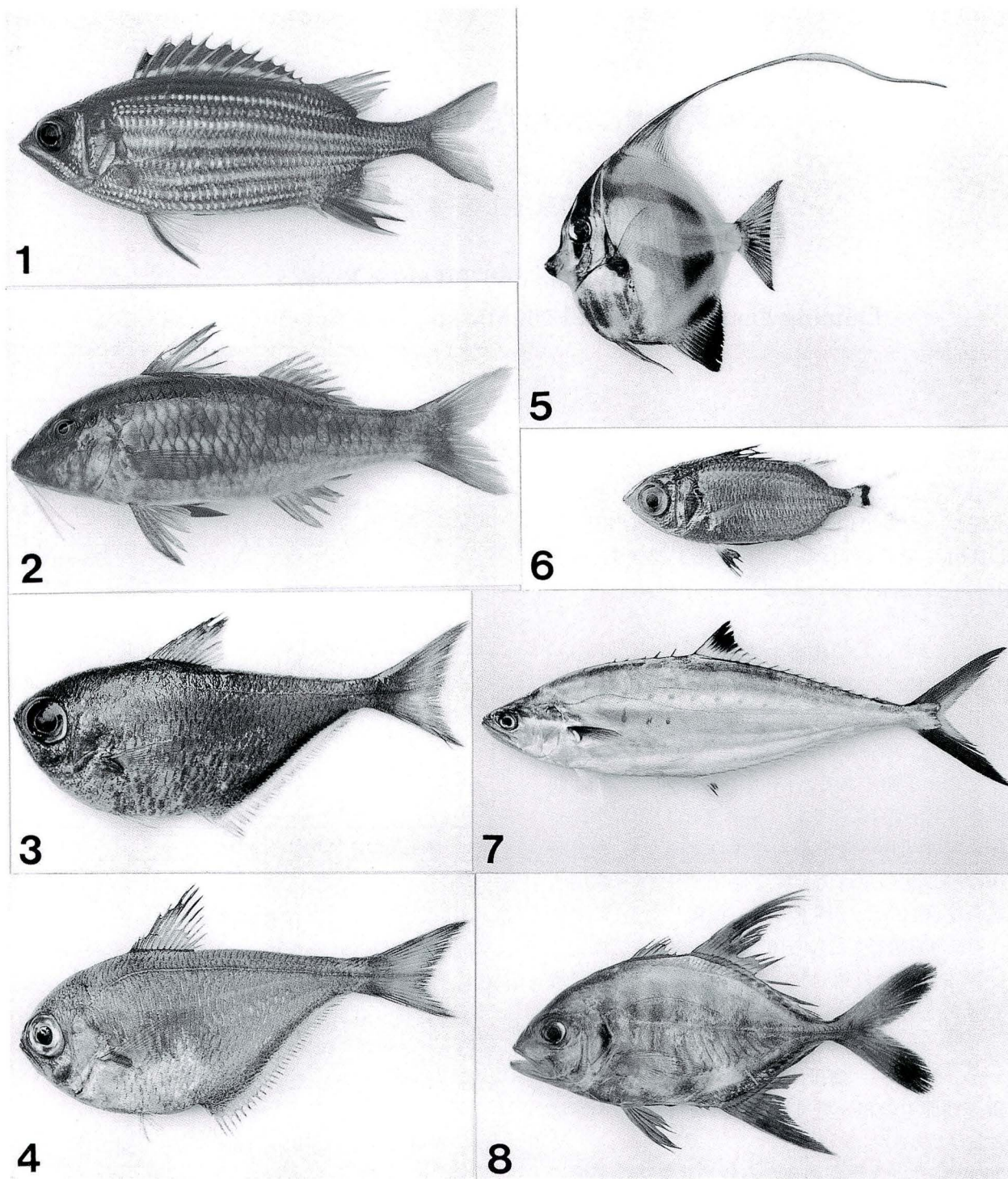


図2. 1. テリエビス *Sargocentron ittodai*; 2. ウミヒゴイ属の一種 *Parupeneus* sp.; 3. ハタンボ属の一種 *Pempheris* sp.; 4. ミナミハタンボ *Pempheris schwenkii*; 5. ツノダシ *Zanclus cornutus*; 6. アカマツカサ属の一種 *Myripristis* sp.; 7. イケカツオ *Scomberoides lysan*; 8. イトヒラアジ *Carangichthys dinema*.

鰭がやや黄色がかることで区別できる。また本種は、腹部の基底に近いところに黄色帯があるが、オキナヒメジとハウライヒメジでは黄色帯が腹部基底よりやや離れている。オキナヒメジは、三浦半島沿岸の定置網ではふつうに漁獲されるが、本種は相模湾初記録である。

548. ハタンボ属の一種 *Pempheris* sp. (図2-3)

1999年7月28日，毘沙門定置網，SL; 110 mm，YCM-P31864

本個体は，体色が全体に焦茶色であること，側線有孔鱗数が60などから波戸岡（2000）のリュウキュウハタンボ *Pempheris* sp. や柳下（2001）のハタンボ属の一種 *Pempheris* sp. に似る。しかし，腹鰭前方に隆起線がある点で異なる。腹鰭前方に隆起線があるものに，従来リュウキュウハタンボとされた *P. oualensis*

(Tominaga, 1968; 林, 1984)がある。今回, *P. oualensis* との比較ができなかったため、ここではハタンボ属の一種 *P. sp.* としておく。

本種の分布は明らかではないが、相模湾からは初記録である。相模湾でもよく見られるミナミハタンボとは、体色が黒みがかる(ミナミハタンボは淡褐色、図2-4, 1999年12月8日, 三戸定置網, SL; 100 mm, YCM-P31867), 前頭部の傾きは緩やか(急)、腹鰭は胸鰭の中央下にある(後端下にある)、臀鰭始部は背鰭後端直下より前方にある(後方にある)ことで区別できる。

本種は、1999年の7月から8月にかけて毘沙門の定置網で連続して漁獲されたが、それ以前とその後は採集されていない。

549. ツノダシ *Zanclus cornutus* (図2-5)

2001年8月12日, 毘沙門定置網, SL; 59 mm, YCM-P39713

千葉県以南、インド・太平洋に分布する。相模湾では、三浦半島南西部(工藤・岡部, 1991), 天神島(林, 1995), 芝崎(萩原・長谷川, 1990), 田ノ浦湾(東ほか, 1989)から記録がある。本個体は、まだ完全に成魚の色彩が現れていないほか、体型もやや丸みが強く幼魚の形態を残している。なお、9月24日には城ヶ島沿岸で、成魚の色彩になった個体(SL; 63 mm)を採集している。

アカマツカサ属の一種 *Myripristis sp.* (図2-6)

2000年11月5日, 毘沙門定置網, SL; 35 mm, YCM-P39713

吻端は透明でややとがり、リンキチス期の特徴が残っている。鱗は大きく櫛鱗で、全身に発達する。体色は金属光沢のある茶褐色で、背面は藍色がかる。背鰭は、棘部は黒く軟条部は無色で先端が赤みがかる。腹鰭は、基部側は黄色く先端に向い黒い。臀鰭は、無色で先端が赤みがかる。尾鰭は、基部に黒帯があり、先端が赤みがかる他は無色。このような特徴は、沖山編(1988)に図示されたアカマツカサ属 *sp.* (稚魚)の特徴に類似する。本属を含むイトウダイ科の稚仔魚は、体系的な整理ができていない(沖山編, 1988)ので、種の同定は出来ない。

イケカツオ *Scomberoides lysan* (図2-7)

2000年10月9日, 三戸定置網, SL; 321 mm, YCM-P39714

山田・工藤(2001)は幼魚を報告したが、その後、成魚の標本が獲られたので補足記録した。

イトヒラアジ *Carangichthys dinema* (図2-8)

2001年9月16日, 藤沢定置網, SL; 96 mm, YCM-P39702

山田・工藤(1992)が報告したものは体長183 mmの個体で、体色は成魚と変わりなく銀白色、背鰭基底に黒斑が並んでいる。本個体はさらに小さく、全身茶褐色で、背鰭基底に薄く黒斑が並ぶ。中坊(2001a)は、体長91 mmのテンジクアジを図示しているが、本個体と色彩がきわめて類似している。

おわりに

本報告を作成するに当たり、標本登録の便を図ってくださり、種々ご教示いただいた横須賀市自然・人文博物館の林 公義氏、資料収集にご協力いただいた丸夕丸、丸共丸、共栄丸、諸磯丸、万七丸、三崎沿岸漁業協同組合ほかの方々に深く感謝する。

文 献

- 萩原清司・長谷川孝一, 1990. 葉山町芝崎周辺の沿岸魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 103-110.
- 波戸岡清峰, 2000. ハタンボ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索全種の同定 第2版. pp 878-879, 1570. 東海大学出版会, 東京.
- 林 公義, 1984. ハタンボ科. 益田一他編. 日本産魚類大図鑑解説編. pp. 160-161. 東海大学出版会, 東京.
- 林 公義, 1995. 天神島自然教育園海域の魚類相. 横浜国立大学環境科学センター紀要, 21 (1): 243-258.
- 東 禎三・林 公義・長谷川孝一・足立行彦・萩原清司, 1989. 伊豆半島須崎, 田ノ浦湾周辺海域の魚類. Bull. Coll. Agr. & Vet. Med., Nihon Univ., (46): 175-185.
- 神田幸司・池田博美・中坊徹次, 1998. 南日本太平洋沿岸から採集されたヒメジ科ウミヒゴイ属の1未記載種. 1998年度日本魚類学会年会講演要旨, p. 19.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 29-38.
- 中坊徹次編, 2000. 日本産魚類検索 全種の同定 第2版. 東海大学出版会, 東京.
- 中坊徹次, 2001a. テンジクアジ. 中坊徹次他編. 以布利黒潮の魚 ジンベエザメからマンボウまで. pp. 202. 大阪海遊館, 大阪.
- 中坊徹次, 2001b. ウミヒゴイ属の一種. 中坊徹次他編. 以布利黒潮の魚 ジンベエザメからマンボウまで. pp. 221. 大阪海遊館, 大阪.
- 沖山宗雄編, 1988. 日本産稚魚図鑑. 東海大学出版会, 東京. xii + 1157 pp.
- Tominaga, Y., 1968. Internal morphology, mutual relationships and systematic position of the fishes belonging to the family Pempheridae. Japan, J. Ichthyol., 15 (2): 43-93.
- 柳下直己, 2001. ハタンボ属の一種. 中坊徹次他編. 以布利黒潮の魚 ジンベエザメからマンボウまで. pp. 222. 大阪海遊館, 大阪.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1992. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅲ. 神奈川自然誌資料, (13): 45-53.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2001. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅹ. 神奈川自然誌資料, (22): 43-50.

(山田: 相模湾海洋生物研究会,

工藤: 神奈川県水産総合研究所)